

環境活動レポート

2023年度

活動期間： 2023年4月
 ∩
 2024年3月

作成日：2024年8月27日

九州アルファ株式会社



九州アルファ株式会社 環境経営方針

環境保護の理念

当社は、地球環境問題が人類共通の重要課題であることを認識し、
企業活動のあらゆる面で環境に与える影響を配慮し、地球環境の
保全に取り組み、自然との調和を図ります。

環境保全活動の基本方針

1. 企業活動が環境に与える影響を的確に把握し、環境マネジメントシステムの
継続的維持、改善を図り、環境汚染の予防及び防止に取り組みます。
2. 環境関連の法規制及び同意した取り決め事項を遵守します。
3. 当社の事業活動が環境に与える影響の中で、特に次の項目について、
環境経営目的・目標を設定して全員参加で活動を推進します。
また、定期的に環境経営目的・目標の見直しを実施します。
 - ①省エネルギー活動に積極的に取り組み、二酸化炭素を削減します。
 - ②当社から排出される廃棄物の削減・リサイクル化を推進します。
 - ③節水に取り組み、水の使用量を削減します。
 - ④グリーン購入を推進します。
 - ⑤当社の生産活動を通じて発生する工程廃却の削減に取り組みます。
3. 環境経営目的・目標を設定して全員参加で活動を推進します。具体的活動とし、
資源とエネルギーの有効利用ならびに廃棄物の削減に取り組みます。
また、定期的に環境経営目的・目標の見直しを実施します。
4. 顧客の推進する環境保全活動には積極的に協力すると共に、地域の環境
美化運動への参加を通じて環境保全活動に貢献します。
5. 環境経営方針を全従業員に周知徹底し、環境を重視する企業風土を醸成します。
6. 環境経営方針は、一般の人が入手可能なものとします。

2023年6月1日

九州アルファ株式会社

常務取締役 梅月 武志

1. 組織の概要

1. 1 事業所名及び代表者名

九州アルファ株式会社 代表取締役 山田 学

1. 2 所在地

〒824-0058 福岡県行橋市大字長木402番地

1. 3 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 奥 国広

担当者氏名 総務課 神宮 貞治

連絡先 TEL 0930-23-5520

[E-mail: singu@kk-alpha.co.jp](mailto:singu@kk-alpha.co.jp)

1. 4 事業内容

自動車部品製造業(ドアハンドル・キーセット)

1. 5 事業規模

	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	912	977	1,065
従業員数 (期末人員)	人	45	48	49
延床面積	m2	2,473	2,473	2,473

従業員数:派遣社員を含む

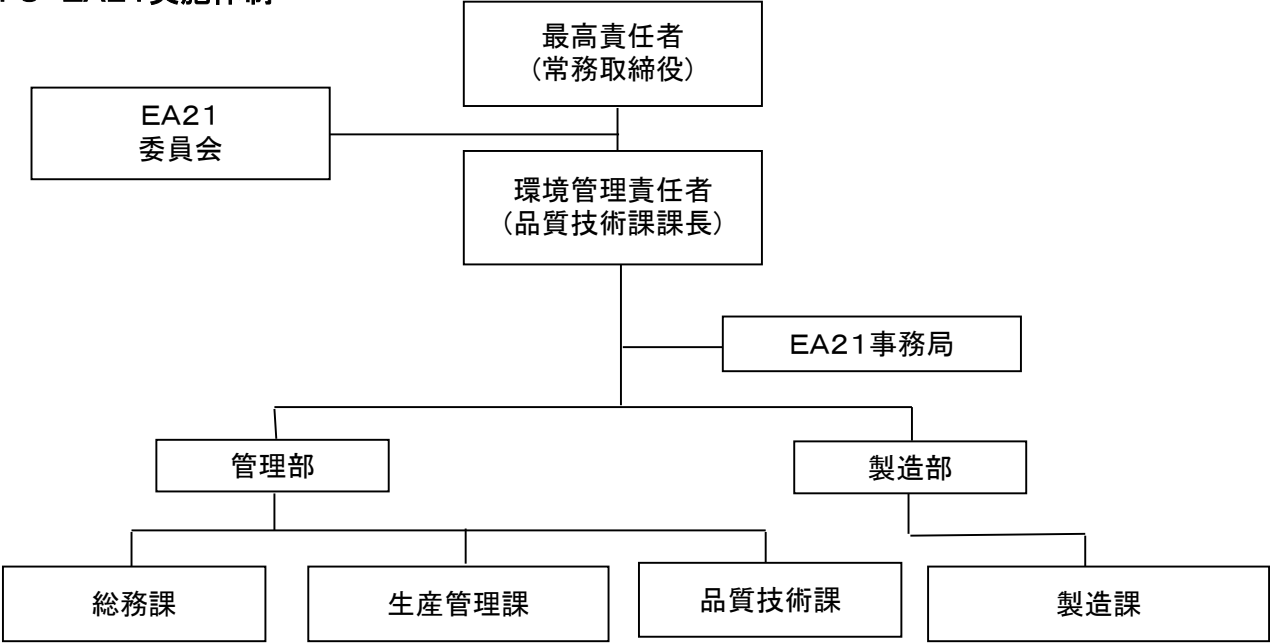
1. 6 事業年度

2023年度(2023年4月～2024年3月)

1. 7 対象範囲

全社全事業

1. 8 EA21実施体制



役割分担表

所属	役割・責任・権限
最高責任者	全体総括、環境方針の設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の見直し、環境方針を全従業員に周知する
環境管理責任者	環境経営システムを構築、運用し、環境目標、環境活動計画を統括、管理する
EA21委員会	1ヶ月に1回開催し、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実行状況を審議する
EA21事務局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
製造課 生産管理課 品質技術課 総務課	電力使用量の管理 廃棄物の排出量の管理 水使用量の管理 コピー用紙の管理

2. 環境目標とその実績

評価基準

2.1 目標とその実績

当社における、過去の環境負荷実績及び、2023年度の目標と実績は以下の通りである。

目標達成率: 100%以上 70%以上100%未満 70%未満



	単位	2022年度 実績	2023年度		目標達成 状況	評価及び今後の反映
		基準値	目標値	実績		
CO2排出量の削減 (エネルギー消費)	kg-CO2/ 加工高百万円	2,512	2,499	2,538	 98%	活動: エアコンの設定温度による削減 不要な電気の使用の削減(水銀灯)等 評価: 生産により増加したものの比率では目標値を達成できた。 今後の反映: 電気の使用量の削減につながる事がないか 継続して会議にて確認し、節電対策を取る
削減率 / 目標達成率			▲0.5%			
総量	t-CO2	402,432	—	441,166		
廃棄物排出量の削減 (一般ごみ)	kg/ 加工高百万円	63.9	63.6	52.3	 122%	活動: 再生品と廃棄物との分別、一般ごみ置き場の改善 評価: 各活動により一般ごみの重量を削減できている。 今後の反映: 継続して活動を継続する
削減率 / 目標達成率			▲0.5%			
総量	t	10,235	—	9,092		
廃棄物排出量の削減 (産業廃棄物)	kg/ 加工高百万円	11.5	11.4	8.0	 143%	活動: 再生品と廃棄物との分別 成形品の再生可能品の増加(2021年度11月より) ※廃パージ材、粉碎材等 評価: 再生化により産廃重量が減少でき、大幅に目標達成。
削減率 / 目標達成率			▲0.5%			
総量	t	1,840	—	1,380		
水使用量の削減 (排水量の削減)	m ³ / 加工高百万円	3.07	3.05	5.17	 59%	活動: 手洗い場、トイレの節水 評価: クーリングタワーの水もれにより使用量増加 今後の反映: 安全パトロールで水漏れの確認を必須項目とし 漏れがあった場合には早急に対策を取る。
削減率 / 目標達成率			▲0.5%			
総量	m ³	1326	—	2,954		
グリーン購入	品目数	1品目実施	1品目追加	2品目追加		活動: エコマーク商品を優先的に購入する 評価: 目標通り1件実施 今後の反映: 継続してエコマーク商品の情報提供、実施する
自工程廃却金額の削減	千円	855	642	654	 98%	活動: 製造段階での不良発生に伴う工程廃却削減 週次の予実会議にて、原因を確認し各職場にて対策を実施 評価: 成形の廃却品を削減できた 今後の反映: 継続して廃却品削減に取り組む
目標達成率			経営方針による↑			
加工高	百万円	160.2	—	173.8		
人数	従業員数	432	—	571		

※CO2排出係数: 九州電力 2017年実績 調整後二酸化炭素排出係数 0.463 (kg-CO2/kwh)

2023年度のレシオが2022年度比で100%(ハンドル)のため、加工高を修正しなかった。

廃棄物はリサイクル(再生化)を除いた廃棄量で実績を出した。

2.2 今年度以降の目標

基準：2022年度実績
(CO2排出係数変更なし)

環境目標	単位	2023年度 実績	2024年度 目標値	2025年度 目標値	2026年度 目標値
CO2排出量の削減 (エネルギー消費)	kg-CO2/ 加工高百万円	2,538	2,525	2,513	2,487
 削減率			▲0.5%	▲1%	▲2%
総量	kg-CO2	441,166			
①購入電力の削減	kWh/ 加工高百万円	2,520	2,507.4	2,494.8	2,469.6
 削減率			▲0.5%	▲1%	▲2%
CO2排出量	kWh × 0.463	437,987			
②ガソリン使用量の削減	L/ 加工高百万円	18.3	18.2	18.1	17.9
 削減率			▲0.5%	▲1%	▲2%
CO2排出量	L × 0.0671 × 34.6	3,178			
廃棄物排出量の削減 (一般廃棄物)	kg/ 加工高百万円	52.3	52.0	51.8	51.3
 削減率			▲0.5%	▲1%	▲2%
総量	kg	9,092			
廃棄物排出量の削減 (産業廃棄物)	kg/ 加工高百万円	7.94	7.90	7.86	7.78
 削減率			▲0.5%	▲1%	▲2%
総量	kg	1,380			
水使用量の削減 (排水量の削減)	m³/従業員数	4.37	4.35	4.33	4.28
 削減率			▲0.5%	▲1%	▲2%
総量	m³	1,853			
グリーン購入	品目数	2品目追加	1品目追加	1品目追加	1品目追加
					
自工程廃却金額の削減	千円	654	352	352	352
					
加工高	百万円	173.8	—	—	—
人員	従業員数	424	—	—	—

※CO2排出係数：九州電力 2017年実績 調整後二酸化炭素排出係数 0.463(kg-CO2/kwh)

2024年度のレシオが2023年度比で100%（ハンドル）のため、加工高を修正しなかった。
2024年度の目標を設定するためのCO2排出係数も2023年度と同じ：0.463(kg-CO2/kwh)とした

※自工程廃却金額の2024年度以降の目標値は経営方針の値を用いて設定した。

※当社は化学物質を使用していないため、環境経営目標には取り入れていない

※水使用量は2023年度の水漏れがあった月を除いた値を基準とした

3. 主な環境活動計画の内容

各項目毎に実施責任者と実績スケジュールを明記し、実施する。

3.1 CO2排出量の削減



	項目	活動内容
購入電力の削減	空調機の省エネ	職場の作業に適した運転基準温度を定め、実施する。
		空調機運転時の工場出入り口シャッター開き高さを最少限度に設定する。
		空調機フィルターの点検を行い、必要により清掃する
	照明の省エネ	昼休みの事務所、工場および倉庫の消灯を徹底する。
		夜間の非稼働エリアの消灯及び部品倉庫やトイレのこまめな消灯を行う。
		スイッチに「節電」ラベルを貼り、周知徹底する。
	設備の省エネ	設備のエアリーク一斉点検日を設け、エアリークを改善する。
		非稼働設備の主電源をおとす。
		コンプレッサー及びクーリングタワーの点検・清掃を実施する。
ガソリンの削減	フォークリフト	バッテリー式フォークリフトの優先利用を推進する。
	社用車	アイドリングストップとエコ運転を推進する。
フロン類排出防止	空調機	エアコンの簡易点検を実施、フロン類の漏えい等を確認する。

3.2 廃棄物の削減



	項目	活動内容
廃棄物排出量の削減 (一般廃棄物)	コピー用紙及び電算用紙の 使用量削減	使用済み用紙の裏紙回収箱、リサイクル紙回収箱を設置し、再利用する。
		電子メディア等の利用によるペーパーレス化を行う。
		会議でのプロジェクター利用を推進し、配布資料を削減する。
	社外より入る 梱包資材の廃却削減	ダンボールの社内再利用と分別によるリサイクル化を行う。
		社外へストレッチフィルムによる過剰梱包の防止を依頼する。
廃棄物排出量の削減 (産業廃棄物)	工程不良品のリサイクル化	リサイクル品と廃却品を分別する。

3.3 水使用量の削減



	項目	活動内容
水使用量の削減	手洗い場の節水	流水調整バルブをしぼり、流水量を減らす。
		「節水」ラベルを貼り、周知徹底する。
	トイレの節水	トイレタンク内の貯水量を減らし、一回あたりの流水量を削減する。

3.4 グリーン購入



	項目	活動内容
グリーン購入	グリーン購入	再生紙等の事務用品を環境にやさしい物品に変更できるか検討し、実施する。

3.5 自工程廃却金額の削減



	項目	活動内容
自工程廃却金額の削減	工程不良品の削減	各職場に廃却状況を確認し、週次の予実会議にては廃却金額を報告し、必要に応じて改善する。各従業員へ改善事項等を徹底する。

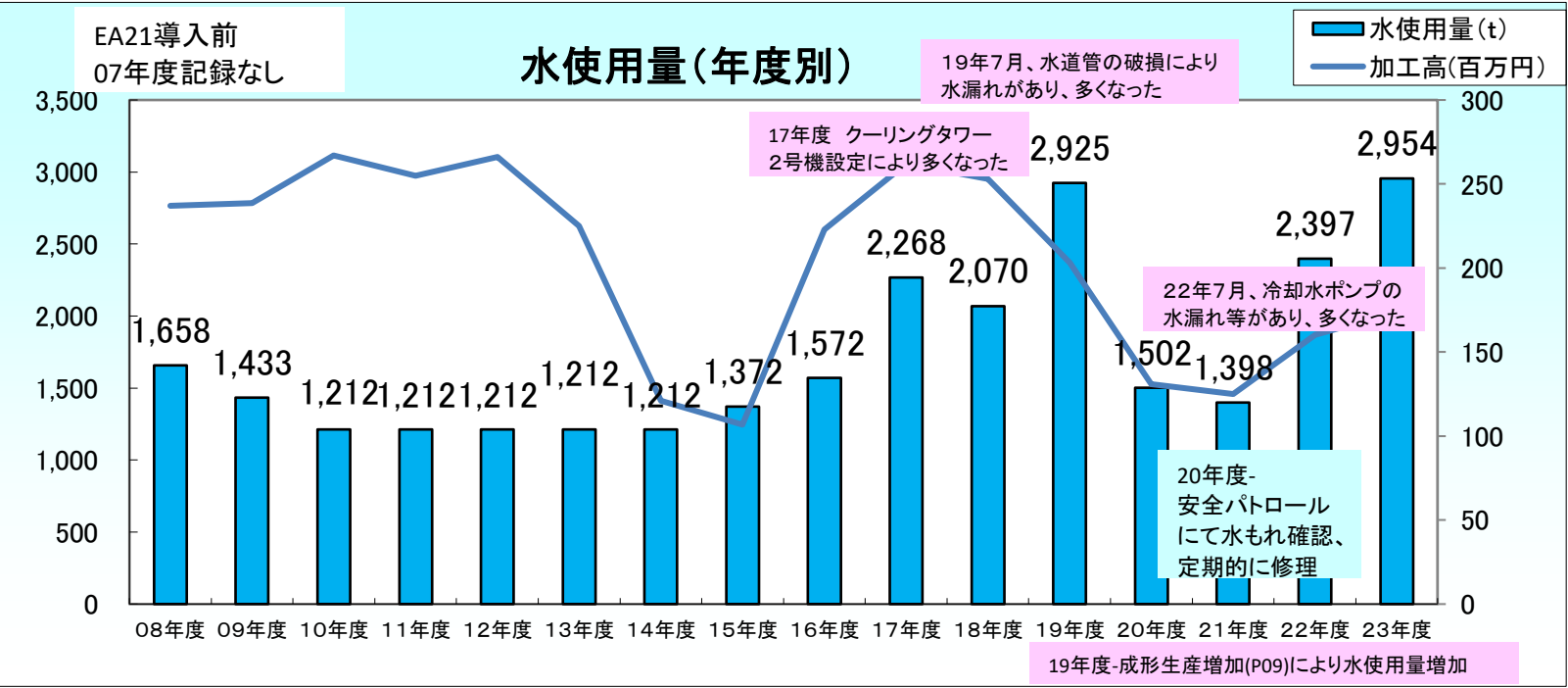
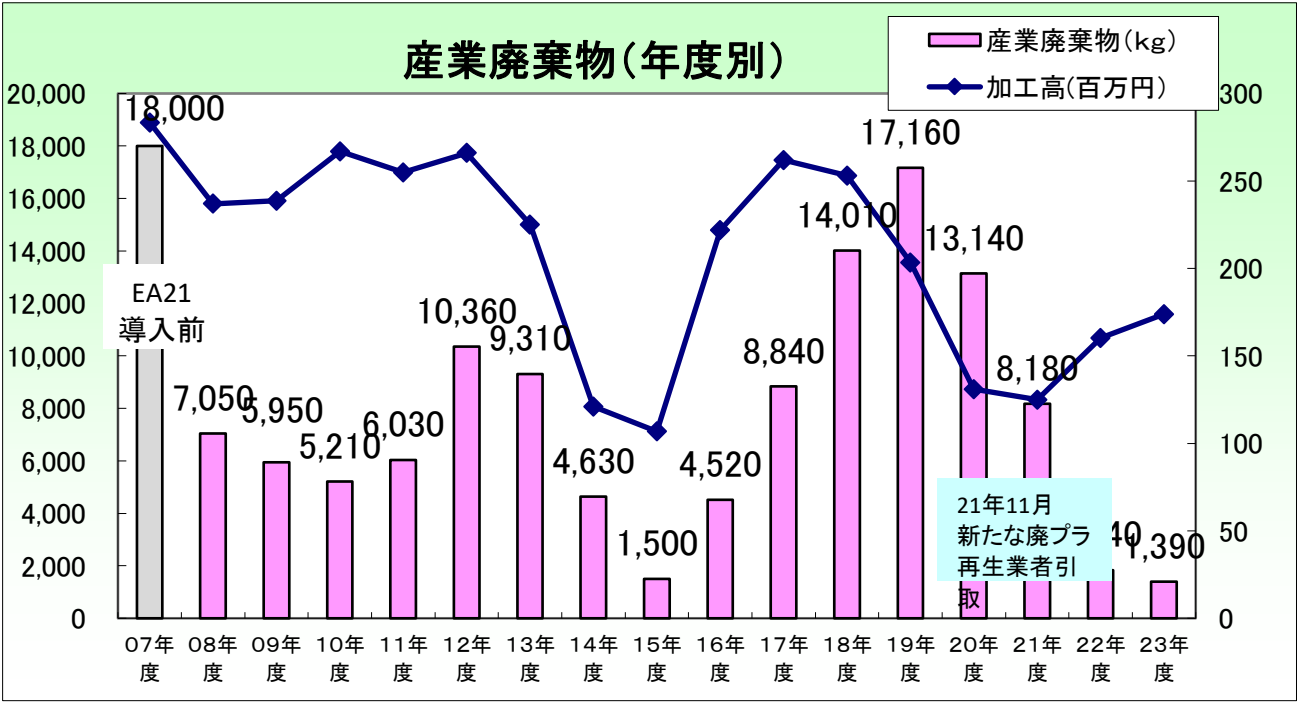
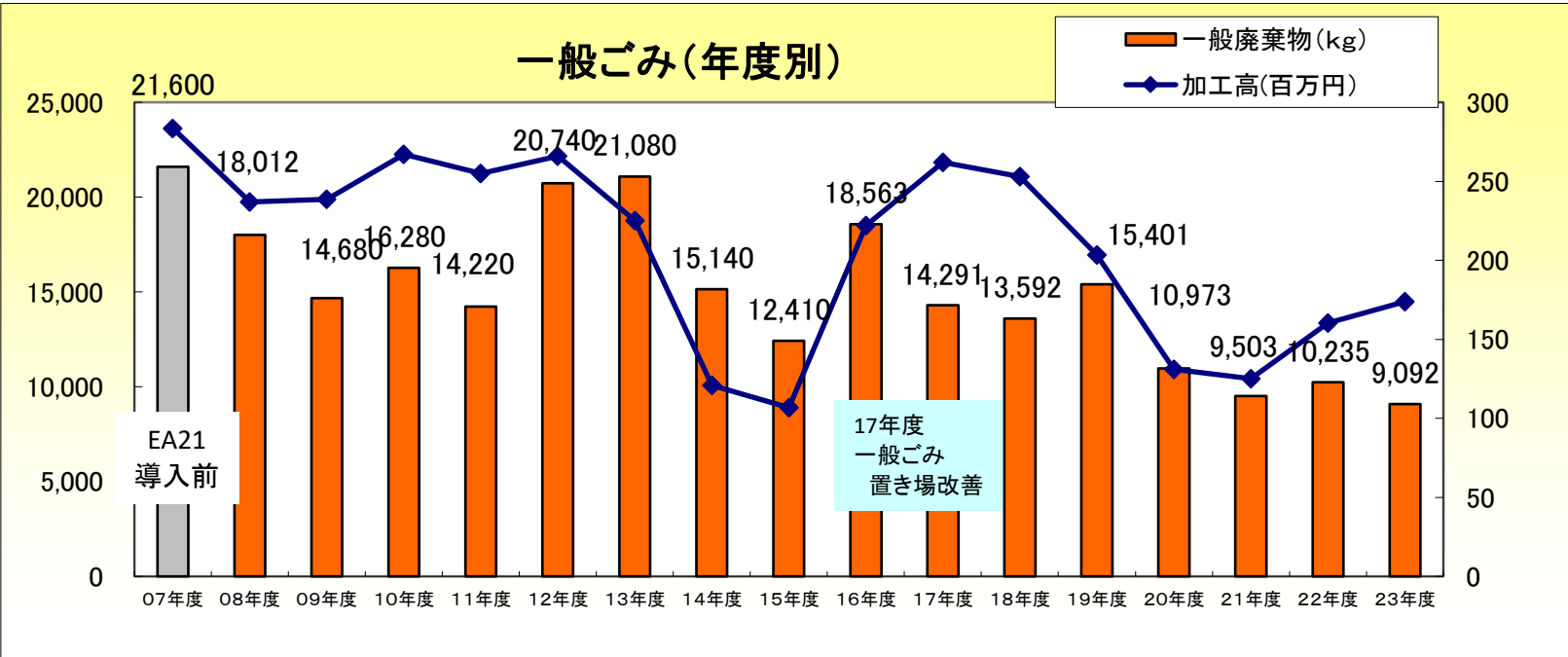
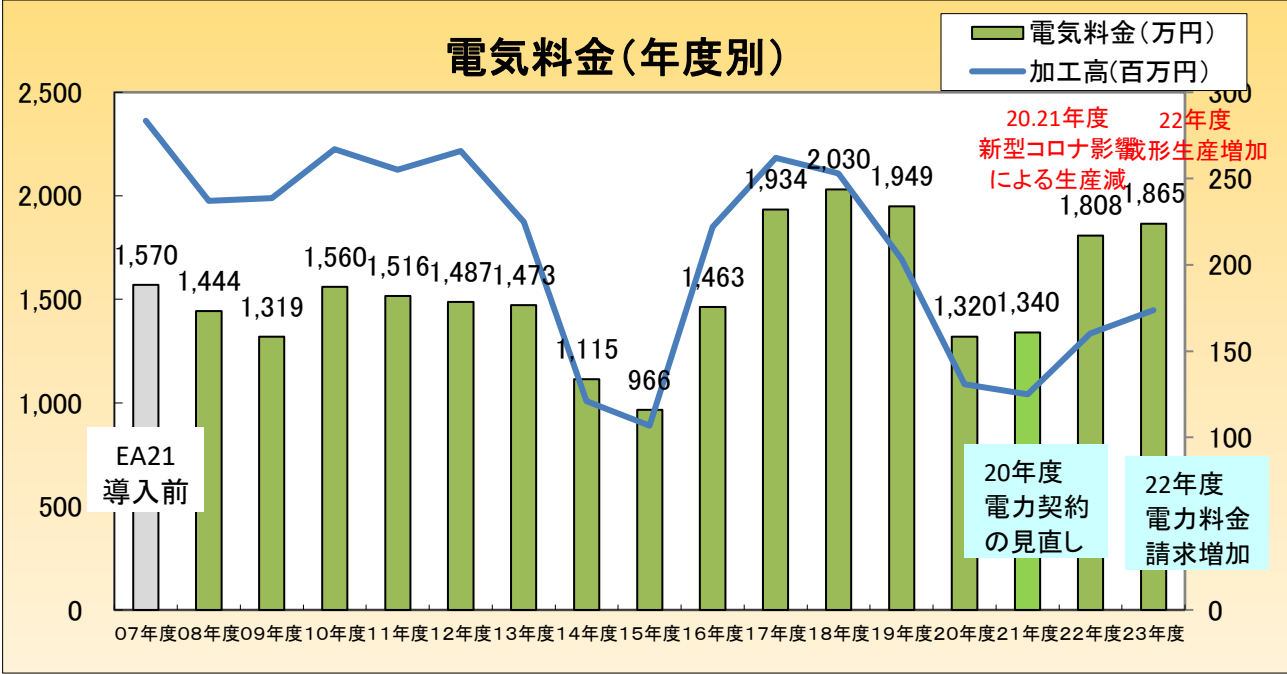
3.6 その他の活動



	項目	活動内容
環境保護	地域の環境美化への参加	工場周辺及び構内の草刈・ごみの回収・水路の清掃を行う。
リサイクルの推進	リサイクルの推進	回収した資源ごみがリサイクルされるよう、外部委託業者を検討する
外部の意見等の聴取	外部の意見等の聴取	意見聴取を定期的に行い、環境に対する取組の際に考慮する。
本業を通じての環境面での社会貢献	従業員からの改善提案	従業員からの改善提案期間を設け、その内容についてEA21委員会にて審議、活動を推進する。

環境負荷年度推移

作成日 2024年5月14日



5. 次年度以降の取り組み

各項目毎に実施責任者と実績スケジュールを明記し、実施する。

5.1 CO2排出量の削減



	項目	活動内容
購入電力の削減	空調機の省エネ	職場の作業に適した運転基準温度を定め、実施する。
		空調機運転時の工場出入り口シャッター開き高さを最少限度に設定する。
		空調機フィルターの点検を行い、必要により清掃する
	照明の省エネ	昼休みの事務所、工場および倉庫の消灯を徹底する。
		夜間の非稼働エリアの消灯及び部品倉庫やトイレのこまめな消灯を行う。
		スイッチに「節電」ラベルを貼り、周知徹底する。
	設備の省エネ	設備のエアリーク一斉点検日を設け、エアリークを改善する。
		非稼働設備の主電源をおとす。
		コンプレッサー及びクーリングタワーの点検・清掃を実施する。
ガソリンの削減	フォークリフト	バッテリー式フォークリフトの優先利用を推進する。
	社用車	アイドリングストップとエコ運転を推進する。
フロン類排出抑制	空調機	エアコンの簡易点検を実施、フロン類の漏えい等を確認する。

5.2 廃棄物の削減



	項目	活動内容
廃棄物排出量の削減 (一般廃棄物)	コピー用紙及び電算用紙の使用量削減	使用済み用紙の裏紙回収箱、リサイクル紙回収箱を設置し、再利用する。
		電子メディア等の利用によるペーパーレス化を行う。
		会議でのプロジェクター利用を推進し、配布資料を削減する。
	社外より入る梱包資材の廃却削減	ダンボールの社内再利用と分別によるリサイクル化を行う。 社外へストレッチフィルムによる過剰梱包の防止を依頼する。
廃棄物排出量の削減 (産業廃棄物)	工程不良品の削減	製造段階での不良発生に伴う工程廃却を削減する。
	工程不良品のリサイクル化	リサイクル品と廃却品を分別する。

5.3 水使用量の削減



	項目	活動内容
水使用量の削減	手洗い場の節水	流水調整バルブをしぼり、流水量を減らす。
		「節水」ラベルを貼り、周知徹底する。
		安全パトロールで水漏れの確認を必須項目とし、漏れがあった場合には早急に対策を取る。
	トイレの節水	トイレタンク内の貯水量を減らし、一回あたりの流水量を削減する。

5.4 グリーン購入



	項目	活動内容
グリーン購入	グリーン購入	再生紙等の事務用品を環境にやさしい物品に変更できるか検討し、実施する。

5.5 自工程廃却金額の削減



	項目	活動内容
自工程廃却金額の削減	工程不良品の削減	製造段階での不良発生に伴う工程廃却金額を削減する。

5.6 その他の活動



	項目	活動内容
環境保護	地域の環境美化への参加	工場周辺及び構内の草刈・ごみの回収・水路の清掃を行う。
リサイクルの推進	リサイクルの推進	回収した資源ごみがリサイクルされるよう、外部委託業者を検討する
外部の意見等の聴取	外部の意見等の聴取	意見聴取を定期的に行い、環境に対する取組の際に考慮する。
本業を通じての環境面での社会貢献	従業員からの改善提案	従業員からの改善提案期間を設け、その内容についてEA21委員会にて審議、活動を推進する。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社が遵守しなければいけない主な環境関連法規等は次の通りです。

○廃棄物処理法 ○騒音・振動規制法 ○消防法 ○浄化槽法

○省エネ法 ○フロン排出抑制法 ○グリーン購入法 ○労働安全衛生法

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、違反などは過去3年間は利害関係者からの訴訟や苦情もありませんでした。

7. 代表者による全体の評価と見直しの結果

以下に示す通り、2023年度のエコアクション21全体の取組み状況について、評価し、全般的な見直しを実施し、必要な指示を行った。

1. 評価	環境経営システムが有効に機能しているか	・環境方針、環境目標、環境活動計画の実行、進捗管理の体制はできている。更にEA21委員・従業員への展開を図り、徹底する必要がある。
	環境への取組は適切に実施されているか	・2023年度はCO2排出量(電気使用量等)、水使用量が目標を達成できなかった。その結果を踏まえて、2024年度は改善を行い、目標達成に向けた活動を従業員へ展開し、さらに定着させること。
2. 変更の必要性と指示	環境経営方針	・環境経営方針として、内容は変更なく継続する。
	環境経営目標・環境経営活動	・2024年度の環境目標は2023年度の実績を基に見直して活動を継続的に行うこと。 ・EA21委員会で審議し活動計画に盛り込み、環境経営活動を推進すること。
	実施体制の変更	2024年度の実施体制に見直す。又、2017年度版のガイドラインについては、EA21審査の結果、EA21委員会で各委員の意見を踏まえ、実行可能な範囲で活動を盛り込むこと。